



知られざる

## ランチェスター先生の経歴

【マル秘メルマガ】より 19 通目その 2

### ◆工場の責任者に昇進

兄が全面的に仕事を管理するようになって、会社内の書類や図面を点検したところ、どれも乱雑で判読しがたいものであることが分かった。

整理するうちに、重要な図面とされているものはもう役に立たなくなっていることも分かった。というのは、それらはリンフォード氏の頭の中に記憶されていることであり、また彼のノートにだけ記録されていたからで、もはや意味をなさないものになっていたからだ。

結果として兄は新しい製図法や、夕方の残業時間を決めるなど、その当時としてはめずらしい会社内の作業制度を作った。

このような方法を続けていくうちに、エンジンの全てにわたって再設計したり、出来上がり日を決めてから生産に入っていくという、工程管理についても効率的に仕事を進めた。

今までの仕事の進め方を見て、兄が出した効果的な決定は、各人が情報を秘密的に個人のノートに書いておくことはやめる、ということであった。

会社内部の必要情報は、詳細にわたってはっきりと記録されるようになった。

同じく不可解なことや秘密に対しても、はっきり解明しようとした。

その当時、技術家の間ではそれが1つの流行であった。

1889年10月、兄のフレデリックが報酬を払うから、ということで、私をガスエンジン会社の契約見習生として入社するように手配してくれた。

私にとってはこの上もない好機であった。

70人か80人の会社であったが非常に積極的で、ガスエンジン製造の他に、バラエティーに富んだ技術的活躍をしているところであった。

そしてその中で、私の兄は最高の指導者の地位にあった。

(続く)

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>